

平成28年度 中央区立久松小学校 外部評価報告書
外部評価委員：境田委員、峯川委員、前田委員、関口委員、中村委員、佐藤委員、 福田委員、五味委員、川口委員、岩田委員 報告書作成者：境田委員（第三者評価委員）
評価時期 平成29年3月
1 重点目標の評価 重点目標1「豊かな心と健やかな体の育成」について 評価項目（課題を解決し実行できる力の育成、生活習慣や規範意識の定着、温かい人間関係の育成、健康教育を通しての自己管理能力の育成） ・この目標は、保護者、地域、教職員などみんなの願いである。本校では、この評価項目を具現化するために①情操重視の異年齢活動 ②5分前行動の徹底 ③心のこもった返事・あいさつ・ありがとうの励行 ④小集団活動の推進・学び合い ⑤久松しぐさの推進 ⑥体育・健康教育・食育などの教育活動に取り組み成果を挙げていた。このことは、保護者からのこの項目に関する総合評価が90%以上であることや、「基本的な生活習慣、規範意識の定着」が95パーセント、「温かい人間関係の育成」が92パーセントの肯定的評価であることからもうかがえる。この目標は十分達成されていると考える。 重点目標2「年間を通した教育課程の充実」について 評価項目（学習指導要領の改訂点と変わらぬ部分の確認と実践。 学校評価の積極的な活用 アンケート・第三者評価の充実と活用） ・この評価項目を具現化するために、①異年齢活動・交流活動・幼少一貫の教育活動 ②小集団活動の推進 ③勤労生産・奉仕活動の推進 ④健康増進・体力の向上 ⑤個を大切にしたい教育活動 ⑥久松らしさ〔自主・自立・気品と風格〕の育成を中心に取り組んだ。保護者からは、この項目の総合的評価として93パーセントの肯定的評価を得ている。このことは、関わりを重視した活動を年間計画に位置付けたこと、オリンピック・パラリンピック教育を充実させたこと、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させるために少人数指導での学習を計画的取り入れたこと、校内外の環境美化を推進したことなどが要因として考えられる。十分に目標は達成されていると考える 2 今後の改善に向けた意見 ・生活習慣や学習面などについて、幼稚園、小学校低学年、中学年、高学年の発達段階を踏まえ、育てたい力を明確にした系統表を作成し、家庭との連携を図りながら取り組んでいくことができるようにする。 3 その他の意見 ・校長のリーダーシップのもと、全教職員が子供、保護者、地域の期待に応えるべき日々努力を重ね十分に成果を上げている。保護者・地域の人々に愛され、信頼されている学校である。